

本一色小学校応援団実践報告

1 校長及び代表者氏名

本一色小学校長 堀越 和子
学校応援団代表 松井 秀之

2 今年度の実践報告（主な活動例）



「交通安全の見守り」

毎日、東門西門をはじめ、通学路の各所で校外委員さんをはじめ有志の方による取り組みです。



おやじの会主催によるイベント①

「ペットボトルロケットをとぼそう」が盛大に行われました。



4年生の社会科学習「清掃事業について」ゲストティチャーとしてお迎えしてお話を伺いました。



「金環日食」を学校で見よう

5月21日（月）午前7時より 屋上にて見学会を行いました。総勢200名超の参加でした。



「地域伝統の技を体験しています。」

和太鼓体験、しめ縄づくり、小松菜栽培見学、江戸凧づくり等の体験学習をしています。



全学級で毎週水曜日、年間30回の読み聞かせを行っています。保護者の方をはじめたくさんの方によるボランティア活動です。

3 学校応援団組織図

活動グループ	活動内容	活動日等
読み聞かせボランティア	本の読み聞かせ	毎週水曜日の朝読書タイム
図書室壁面ボランティア	図書室の壁面装飾	月1回程度
おやじの会	親子体験の企画・運営 ・ロケットを飛ばそう ・金環日食を見る会 ・学校に泊まろう会	年間4回のイベント 企画・運営 活動支援
すくすくサポートセンター	すくすく行事の企画・運営 ・すいか割り大会 ・もちつき大会 ・フラワーアレンジメント教室等	以下年間のイベント計画による
葛西囃子の会	・葛西ばやしの演技披露 ・本一色小音頭の太鼓の演奏指導	
地域の伝統工芸・農業体験	・小松菜づくり ・しめ縄づくり ・凧づくり ・学校農園の提供 ・栽培支援	
学校支援ボランティア	・家庭科授業支援 ・書き初め大会のお手伝い ・算数科授業支援 ・昔遊び	

4 成果と課題

成果としては、各種活動が継続的な実践で伝統的なものになりつつある。新たな取り組みも実践されました。

課題としては、成果と実績のある活動を広く保護者や地域の方に理解してもらい、さらに応援団の活動を充実させていく必要があります。

5 松井 秀之学校応援団長より

私は、本一色の町に生まれ、本一色小学校で学び、今はこの町で小松菜栽培の仕事をしています。新小岩の繁華街から近い割に、落ち着いた静かな環境が大切に受け継がれ、町にも学校にも深い愛着があります。この度、私は第20代PTA会長を務めたご縁で、初代本一色小学校学校応援団長をさせていただいております。

地域の方々のお力をわが町の学校のために活用してまいりましょう。そして、学校を一つの核として、地域の活性化にもつなげていきたいと思います。

6 学校長より

「本一色」この町には、都会では失われつつある人情、近隣同士のふれあう人間関係が存続していて、楽しい時も困っている時も、皆協力して助け合うという、すばらしい地域風土があります。本一色自治会を中心にした地域の皆様、そして本校の保護者の皆様からのご理解とご支援をいただき、学校は、常に温かい思いやりを感じています。

そこで、本校の学校応援団では、これまで伝統的・継続的に取り組んできた活動を総括して、活動内容を明確にしました。本年度も、新たな取り組みにもチャレンジし、活動内容の充実を図っています。そして、本校ならではの学校応援団を作り上げてまいります。子供たちが成長して、大人になった時に「自分も本一色の町に住んで、地域とともに生きていきたい」と思えるような学校応援団の活動に高めていきたいと思っております。